



広島
工大

同窓会会報

第34号

発行 広島工業大学同窓会

編集 同窓会編集委員会

731-8130 広島市佐伯区三宅2丁目1-1

広島工業大学内

TEL082-921-3121 (内線) 570



広島工業大学同窓生の皆様へ

同窓会副会長

横山 健次

同窓生の皆様、お元気で活躍の事とお慶び申し上げます。

さて、私連広島工業大学を卒業した者は、「教育は愛なり」という建学の精神と「常に神と共に歩み社会に奉仕する」という教育方針が胸に刻まれて社会に出ていると思います。

これまで37年間に28,600名の同窓生が同じ精神で学び社会で活躍している訳です。

現在地区支部7、県支部14、職場支部33という状況にあり、日本全国何処へ行っても広島工業大学の卒業生が社会への奉仕という精神を柱としてあらゆる分野で指導力を発揮しておられる訳です。

卒業して時が経てば経つ程、大学が懐かしくなり、同窓生が恋しくなるものです。

同窓生が社会に於て評価を高め、広島工業大学の崇高な精神を社会に浸透させていくことが、我々同窓生の役割であり何物にも代え難い人のつな

りであると確信しております。

今、時代の流れの中で広島工業大学工学部は改組転換され、学科名は全てが変わりました。同窓生の多くはこの事を悲しみ、学校への愛情すら失うかの様に話す人さえいます。

同窓会としても、この事については大学側と協議致しましたが、大きく変ってゆく世界環境の中で変化に適應する教育、大学の発展を考える時、止むなしという結論です。

しかし広島工業大学の建学の精神、教育方針は決して変わることはないと思っております。

同窓生の皆さん、広島工業大学の卒業生であることに自信と誇りを持って、多に社会へ奉仕しようではありませんか。

活躍を心より祈念しております。

また同窓会でお会いしましょう。

平成12年4月、 工学部 新学科が スタートしました。

平成12年度から、つぎのとおり工学部の4学科が改編されました。

	旧学科名	新 学 科 名
工 学 部	電子工学科	電子・光システム工学科
	電気工学科	電気・デジタルシステム工学科
	機械工学科	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
		知 能 機 械 工 学 科
	経営工学科	知的情報システム工学科

(注) 工学部 建設工学科、環境学部 環境デザイン学科、環境情報学科は変わりません。



第35回定期総会の報告

広島工業大学同窓会 前幹事長 西田 弘展

平成12年度広島工業大学同窓会総会が、4月22日土曜日、メルパルク広島を会場として開催されました。総会に先立ち、支部長会議が同会場にて開催された(参加者16名)、大学への要望、支部の悩みなど意見の交換が行われました。母校に望むこと、若い人の参加促進方法を審議事項として、会員の把握、支部の活動の質しなど々が挙げられ、本部の資金援助を含め、支援の希望や逆に大学へは支部としてどのようなことができるかなどが議論されました。



総会は、道田会長の挨拶で始まり、議長に(株)中電工の長谷川光夫氏を選出し、次第に則り進められ無事終了いたしました。次第は、①平成11年度活動報告、②平成11年度会計報告、③会計監査報告、④会則改正、⑤平成12年度役員選出、⑥平成12年度活動方針案、⑦平成12年度予算案の順で審議を行い、資金運営等の効率化を求める意見もいただきました。役員改選は、副会長、副幹事長の各一名が空席のままとなっておりましたが、事務局一任として承認されました。会則改正は、会計並びに会計監査の人数が3名から2名に変更されました。

なお、平成12年度同窓会役員は別記のとおりです。

総会終了後の懇親会には母校より多数の先生方のご参加をいただきました。また、堤田貴金属工業株式会社、堤田英治氏の司会のもとに、たぐさんの景品を準備しておりましたビンゴゲームは、なかなか盛況でした。

平成12年度同窓会役員

支部第一地区支部代表者

職 務	氏 名	卒業年学科	職 務	氏 名	卒業年学科	支 部
幹 事	中田 重男	41 電子	幹 事	森 雄三	50 土木	
副 幹 事	永見 泰吉	42 *	副 幹 事	大林 義	55 *	
会 長	道田 憲治	45 経営	会 長	村中 昭典	59 *	
副 会 長	荒谷 寿一	47 土木	副 会 長	高崎 健二	114 *	
	横山 健夫	44 建築		岩原 徹	115 *	
	井手 俊彦	43 機械		手嶋 義典	49 建築	
	藤 信二	44 電気		榎村 寿彦	56 *	
幹 事 長	菅原 辰彦	44 建築		広重 隆	45 経営	
副 幹 事 長	野村 文雄	62 電子		笠原 昌	48 *	
	西田 弘展	45 経営		佐田 昌	48 *	
会 計	森 重三	46 電子		西野 達夫	49 *	
	松岡 幸弘	63 機械		加藤 伸吉	114 *	
会計監査	森 正	53 建築		中嶋 佳二	115 *	
	河野 和宏	60 *		飯坂憲太郎	119 経営	
書 記	三戸恵一郎	44 機械		小川 博道	1110 *	
	坂井 元康	63 *	評 議 員	折田 昌弘	38 電子	島 根
幹 事	砂田 謙二	39 電子		村上 伸	38 *	岡 山
	村田 弘志	41 *		長谷 光高	41 *	山口南
	寺地 雄二	41 *		風本 理	51 *	愛 媛
	川畑 敬三	42 *		森本 房典	41 電気	
	片岡清之志	42 *		村山 美樹	41 *	
	玉野 和臣	44 *		村田 博之	44 *	名 古屋
	沖原 光夫	44 *		坂本 幸典	45 機械	
	福沢 昭	39 電気		中村 幸人	46 *	
	橋上 憲治	42 *		藤田 正博	47 *	
	原田 義治	42 *		新沼 敏春	51 *	
	中田 時生	46 *		中田 敬司	58 *	
	松江 孝博	43 機械		平川 敏郎	45 土木	大 分
	中田 勘次	43 *		和田 一雄	47 *	広島第一
	小西 正明	43 *		山本 良仁	47 *	長 崎
	森岡美治郎	43 *		山下 忠道	48 *	熊本
	中村 哲三	46 *		山田 忠孝	48 *	福 岡
	森岡 明	47 *		丸岡 富哉	44 建築	
	小島 利明	52 *		加藤 孝子	45 *	
	山下 一彦	55 *		正木 繁雄	54 *	
	水落 健治	61 *		星 弘明	54 *	
	中村 繁治	117 *		新保 栄一	45 経営	
	伊藤 秀敏	45 土木		指山 祐男	48 *	佐 賀

平成12年度活動方針

- (1) 会誌、会報の発行
- (2) 同窓会名簿に関するメンテナンス
- (3) 支部の連携強化
- (4) 在学生援助
- (5) 同窓会業務の大学との連携
- (6) 財務の検討

平成11年度同窓会会計報告

合計

145,579,017

〈収支決算〉

平成11年度総収入	27,491,930
平成11年度総支出	23,067,979
残高	4,423,951

〈収入の部〉

平成10年度繰越金	5,803,696
入会金	3,360,000
終身会費	17,910,000
総会会費	362,000
預金利息	28,514
雑収入	27,720
合計	27,491,930

〈支出の部〉

印刷製本費	2,680,125
会合費	1,200,959
支部費	855,000
助成費	795,000
卒業記念品代	525,000
通信運搬費	5,674,132
消耗品費	889,785
旅費交通費	1,402,260
役員手当	32,000
委託費	1,404,764
保守費	
福利費	14,399
庶務費	55,000
賃借料	48,910
備品費	0
雑支出	45,645
同窓会基金繰入金	4,000,000
奨学基金繰入金	1,445,000
記念事業準備金	2,000,000
予備費	0
合計	23,067,979

〈基金の部〉

平成10年度繰越金	139,070,943
本会計より繰入	4,000,000
記念事業準備金	2,000,000
預金利息	508,074

〈奨学基金の部〉

基金	21,970,047
奨学基金繰入金	900,000
助成費剰余金	545,000
預金利息	78,097
奨学基金	△600,000
寄付金	857,210
合計	23,750,354

平成12年度予算

〈収入の部〉	
平成11年度繰越金	4,423,951
入会金	3,675,000
終身会費	16,380,000
総会会費	400,000
預金利息	50,000
雑収入	30,000
合計	24,958,951

〈支出の部〉

印刷製本費	3,000,000
会合費	1,500,000
支部費	1,150,000
助成費	1,350,000
卒業記念品代	550,000
通信運搬費	7,050,000
消耗品費	1,400,000
旅費交通費	1,600,000
役員手当	32,000
委託費	1,600,000
保守費	100,000
福利費	30,000
庶務費	150,000
賃借料	70,000
備品費	100,000
雑支出	70,000
同窓会基金繰入金	2,000,000
奨学基金繰入金	900,000
記念事業準備金	2,000,000
予備費	306,951
合計	24,958,951

工大Spirit近況報告1

住友金属プラント株式会社広島営業所勤務 (昭和44年土木工学科卒業) 川上 速水



一. はじめに

月日の経つのは早いもので工大を卒業して30年を過ぎ、先日の同窓会に初めて出席して久しぶりの洗禮ができました。

入社以来、都市ガスのパイプライン敷設工事に従事しており、幸か不幸か大阪で27年、山口で2年間勤務後、昨年10月より思い出さず広島に単身赴任しております。

当営業所は、広島ガスを中心に中・四国地方を担当していますが、各方面での同窓生の活躍ぶりに改めて感心しています。

一. 寝食を忘れ阪神淡路大震災での復興に従事

可も不可もなく、平凡に過ごして来ましたが、関東方面で地震が多発している昨今、平成7年1月17日の阪神淡路大震災では、地獄図の様な大惨事でした。その大惨事の現場に飛びこみ、復興に従事した事は、今でも脳裏から消えません。

通常は公道での施行の為、騒音、ほこり、振動による家屋損害、交通渋滞、営業補償等の苦情が日常茶飯事で、如何に苦情なしに施行するのか苦慮している所ですが、復興期間中はガス工事においても例外でなく地域住民より大歓迎を受け、寝食を忘れ働いた事が昨日の様に思われます。

一. よき出会いに感謝

卒業後すぐに母校に奉職させていただいたその当時のよき出会いで機械工学科に残っていた小西正明先輩にめぐり会い私の同僚の栗本さんと共に先輩小西さんに今日まで陰に陽に大変よくしていただけています。皆様でこのたびの同窓生の近況によりに声をかけていただいたこととさせていただきます。

一. おわりに

これから「山より大きい獅子は出る」をモットーに悔いのない人生を送りたいと思っています。



厳しい目で現場に立つ川上さん

工大Spirit近況報告2

新ダイワ工業株式会社勤務 (昭和50年機械工学科卒業) 庭木 岳文



先日、恩師の小西先生より、投稿の依頼をいただき、書きものの苦手な私にとって、いささか、気の重い事ではありますが、勇気をふるいたたせて、誌面を汚させていただきました。誠にありがとうございました。

今、仕事でアメリカの機内に、ペンを持っています。(機のスピードに比べて、なんと、ペンの遅いことか！)

まず、思い出されますのは、学生時代の友との悪行。当時の友人とは、今も時折、連絡をとり合い、話に精を出します。この時は、引き出しの奥深くしまい込んでいた事も容赦なく白日にさらされます。次に、試験の一言一動。成績表は、子どもの目の届かぬ所に、大切に保管してあるはずである。若かりし時の思い出は、眼下の白い雲の間に見えかくれる、青い海の様なです。

感謝に浸るのはこれくらいにして、卒業後の事をお話ししましょう。

私は、昭和50年に卒業し、工業メーカーの、三建産業株式会社に入社しました。そこでは、10年間の世話になりました。時、折しも、オイルショックの真只中の頃でした。この10年間に、社会人としての責任や、仕事のとりくみの姿勢等、基礎を勉強させていただいたと思います。

昭和60年、新ダイワ工業株式会社に中途入社し、現在に至ります。当社は、大証二部上場という記念すべき年の入社でありました。

最初に配属された生産本部におきましては、体質改善、および、徹底したムダ排除運動が実施されました。私は、5S事務局を兼務すると共に、品質管理部門並びに、購買部門において、品質、納期改善対策や、バブル時価上げ攻勢対策に携わりました。

その後、子会社の新ダイワエンジニアリング(株)設立に伴い、2年間ほど出向し、製造、人事、管理等、あらゆる業務に従事いたしました。

24時間連続稼働の板金機械のトラブル時には、真冬に機械の傍らに寝泊まりしたことも、今となれば、良き思い出となっています。

後に、本社に帰り、営業本部の農林部に所属となり、当社の創業時よりの商品である、エンジンチェーンソー・刈払機の販売に、全国の営業店をまわりました。

まもなく、新型発電機販売に伴い、プロジェクトチームで、開発から、製造・営業推進に至るまで携わっています。

昨年より、取締役の大役を仰つており、責任の重大さに改めて身の引き締まる思いです。

社会に出て、四半世紀、多くの人と知り合い、激しい景気の波も体験しました。製造業に従事する者として、「品質は命であり、納期は力であり、価格が繁栄であり、変化はチャンスである。」を念頭に仕事に取り組んでいます。



鶴副理事長、前同窓会会長長永さんと(小西先生の自宅にて)

経営工学科卒業生の皆様へ

経営工学科OB部会

会長 近宗 貴
幹事長 西田 弘展

記念碑と記念樹案の提案

すでにご存知のことと思いますが、我が経営工学科の新入生募集は、本年平成12年度より、募集停止となりました。つまり本年の経営工学科の2年生が卒業すると経営工学科はなくなります。最大でも8年間しか在学できませんから、心ある学生が経営工学科の延命工作を目論んだとしても平成18年度にはその名前は無くなる計算です。

そこで、存在の証を示すことを考えることとなりました。まず、広島在住のOBと産みの親たる園児先生にご参加いただき「記念になにをするか？」と考えました。

長考の末、大学へは記念碑と記念樹として、県外の卒業生のために関東、近畿、広島、三つの地区で解散記念パーティーを開催、費用については、記念碑と記念樹、各記念大会の会場費を経営工学科OB会の会計より支出し、大会の参加費のみ個人負担とする。このことは同窓会会報を利用して会員の皆様に提案し、ご意見があれば伝えていただく事となりました。時期、場所については、大学側の意向もありますので打ち合わせを行いました。発祥の地である4号館前の案もありましたが、そこは他の学科の記念樹が多く、

建物の建て替え時期も近いと考えられるので、他の地をあたることといたしました。一番有力な場所として大学の入り口、広島高校の対面の位置、大学が近い将来、整理する土地の一角に予定することに相談が成立しました。写真は、現在のその土地を写したものです。経営工学科の開始の年から終了の年までを石碑に刻み、何かとばを刻みたいと思います。経営工学科の終了は、最後の卒業生が出た年でありますのでその年にその年を刻み込むように残しておき整備が出来次第、除幕を行う予定です。その時には、ご参集いただきたいと思います。記念碑の言葉、いい文句があれば、ご提供ください。また、この行事につきましてご意見があれば、書面等でご一報ください。お金のいらないアイデアお待ちします。



2000年10月、広島工業大学同窓会 ホームページ公開！

<http://www.jim.it-hiroshima.ac.jp/dosokai/>

広島工業大学
同窓会
WebSite

お客さんで、00284人目じやないか！

更新情報
2000.07.xx
…広島工業大学同窓会公式サイト公開！

新着情報 ★New★
第35回同窓会報告、新学科について…
本館だより
方針、報告、会報、会誌(最新号)…
支部紹介
二葉会、会報案内…
資料編
過去の会報・会誌、統計資料…
O日だより (工中事)
資格記事等募集集中！

大学キャンパス情報
イベント、人材、就職…
在学生だより
クラブ活動情報等掲載予定！
教職員紹介
教職員紹介人(人) (古株?)…
掲示板
同窓生来メール…
リンク集
広島の見方、地方新聞、ゆびとま…

お知らせ
Q&A集 - ご質問はこちらへ
住所・氏名・勤務先変更について
卒業生の名簿発行活動のご支援
「O日だより」募集集中！

URL : <http://www.jim.it-hiroshima.ac.jp/dosokai/>
Copyright (C) 2000 H.I.T. Alumni Association. All Rights Reserved.

お待たせしました！

同窓会のホームページ、ついに完成！

さて、気になる内容は…

- ・同窓生や先生方の近況
- ・Q&A集
- ・支部総会・懇親会情報
- ・大学キャンパス情報

などなど、知りたい情報が満載！

リンク先や寄稿記事等も募集中です。
正式運用前にテスト公開しております
ので、ぜひご覧ください。

※お問い合わせは

dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jpへ！

同窓会奨学金基金へのご寄付のお願い

同窓会奨学生基金の財源は、会員の皆様からのご寄付によって賄われております。資金確保のため、ご協力をお願いいたします。要領は下記のとおりです。

金額：1口 1,000円

送付方法：郵便振替 (同封の振替用紙をご利用ください。)

外部出版社が発行する卒業生名簿は同窓会とは一切関係ありません。

ここ数年、「文芸出版」から「広島工業大学同窓会」の発行案内と、それに伴う住所等の調査(八万が卒業生の皆様に届くことがあるようですが、これに基づいては、同窓会とは一切関係ありません。

また、同窓会事務局と称し、勤務先等を電話で調査しているところがあり、本会にお問い合わせや苦情の電話をいただくことがあります。同窓会では、毎年発行の同窓会誌・会報に同封の「連絡先調査票」による調査のみで、その他の手段での個人データ調査は行っておりません。